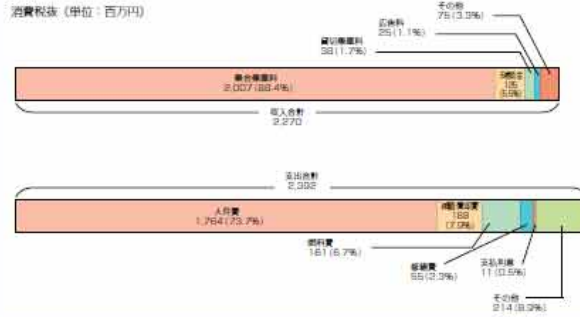


収益的収支の部

企業の経営活動に伴って一事業年度に発生するすべての収益とそれに対応するすべての費用をいいます。バスを運行して得た乗車料収入とそのために要した人件費や物件費が主なものであり、それらの経常的な経費に充てるため他会計から繰入れた補助金や、減価償却費、借入金にかかる支払利息なども計上することとなっています。

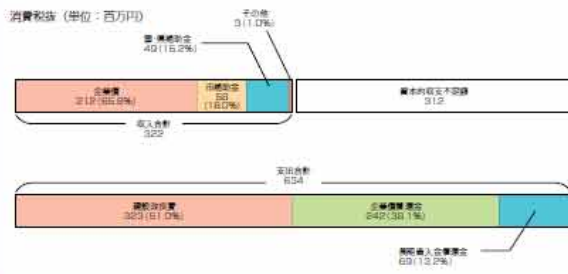
平成19年度
決算の概況



乗合乗車料	乗合バスご利用の際にお支払いいただいた普通乗車券、定期券、市バスカードの発売などによる収入です。※高齢者バスなどにかかる市からの負担金も含まれています。
市補助金	市からの補助金のうち事業活動に充てられる補助金です。不採算公共路線に対する補助金などがあります。
賃借料	貸物バスご利用の際にお支払いいただいた料金収入です。
広告料	車内・外の広告物取り扱いにかかる広告料収入です。
その他	事故賠償保険金や預金利息などの収入です。
人件費	交通局職員給料や退職金などの人的費用です。
減価償却費	バスや停留所施設など固定資産の取得に要した経費を耐用年数に応じて毎年費用化するものです。
燃料費	バスの燃料である軽油や公用車両のガソリン代です。
修繕費	バスや停留所施設、交通局庁舎などの修繕に要した費用です。
支払利息	企業債などの借入金にかかる利息の支払いに要した費用です。
その他	車両損害保険料や委託料などの諸費用です。

資本的収支の部

バスの購入や、停留所諸施設の整備・拡充などの建設改良費、これらのための資金としての補助金や企業債収入と企業債の元金償還等、主に事業経営を行うための施設整備にかかる現金収支のことをいいます。



企業債	事業用資産(乗合バス・停留所工塵など)の取得・改良のための資金として、日本郵政公社等から借り入れたお金です。
市補助金	バスステップバス取得費用の一部補助など事業用資産取得・改良のために市から補助されたお金です。
市補助金	バスステップバス取得費用の一部補助など事業用資産取得・改良のために国・県から補助されたお金です。
その他	乗合車両の売却による収入などです。
資本的収支不足額	支出に対して収入が不足した額については、収益的収支における現金支出を必要とする減価償却費の計上や剰余金の積立による企業内部に留保された資金で補てんしました。
建設改良費	事業用資産(乗合バス・停留所工塵など)の取得・改良のために使った費用です。
企業債償還金	借り入れた企業債の元金償還です。
長期借入金	市から借り入れた長期借入金の元金償還です。
その他	旅行業営業保証金の還付金などです。

市バスご利用のお客様へお願い!

車内事故防止にご協力をお願い致します

★お客様へお願い!

いつも市営バスをご利用いただきありがとうございます。国土交通省自動車交通局の提言で、近年バス車内事故については年々増加傾向にあることから、その対策が急務となっております。

この車内事故については、65歳以上の高齢女性が全体の過半数を占めている中で、利用者側の事故要因として、バスが停留所に着いて完全に停止する前に降車を開始することや、発車直後の席の移動等走行中の車内移動に起因するものや、また、満席のため、吊革や握り棒を持たずに立席中、路面の凸凹やカーブ道路のため、身体のバランスを崩し転倒する事故などが発生しております。

伊丹市交通局においても、車内事故が発生している中で、お客様への事故防止のお願いとして、「事故防止のため、走行中は座席から立たないで下さい」との注意喚起のステッカーを貼り付けています。

バスは安全運転に徹しておりますが、やむを得ず急ブレーキを掛ける場合があります。お立ちになってご利用いただく場合には、吊革や握り棒にしっかりとつかまり下さい。バスの車内事故防止に皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



路線別の営業係数について

市営バスが100円の収入を得るために、どれだけのコスト(経費)がかかっているかという数値をあらわしたものと「営業係数」があります。主に路線ごとの経営状態を示す指標として用いられ、この数値が100を下回るほど、営業効率がよく、採算が取れていることとなります。つまり、営業係数100未満が黒字路線、100以上が赤字路線ということです。

平成19年度決算では、市バス全路線の平均営業係数は115.6となっており、市バス41路線のうち、黒字路線は10路線、赤字路線は31路線で、**残念ながら全体の75%以上が赤字路線ということになります。**(別表「路線別営業係数」参照)

こうした赤字路線については、公共施設や鉄道等公共交通機関へのアクセス、高齢化社会における移動手段の確保といった観点から運行しており、黒字路線における利益のほか、補助金など皆様の税金による負担で運行を維持しています。全国的にバス事業は大変な危機を迎えており、各地でバス路線の廃止や事業からの撤退が続いております。伊丹市においてもこの状況は同様であり、今後大幅な路線の見直しやダイヤの再編、路線移譲等という厳しい事態に陥らないためにも、交通局としては、なお一層の経費節減、効率的な事業運営に引き続き取り組んでまいりますとともに、より多くの方々に市バスをご利用いただくことが、事業運営には必要となります。利用者及び市民の皆様のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。